



ITソリューション塾

**SOFTLAYER**<sup>®</sup>  
an IBM Company

How to Use  
Public Cloud  
for  
Enterprise  
Systems

**Presented by:**  
Tomoari Yasuda  
Senior Architect  
Cloud Meister  
IBM Japan  
@ytomoari  
tomoari.yasuda  
IBM Cloud

日本IBM クラウドマイスター  
安田智有

- ① お客様の「よしやってみるか」を応援してきました
  - ・メディア配信基盤向けアプリプログラマ
  - ・WebやGrid Computing のインフラSE
  - ・新規ビジネス立ち上げ技術企画
- ② IBMクラウドの SoftLayer を基にした設計が専門
- ③ 好きなSoftLayerサービス：ヘアメタルとGPU



話  
すひと

## 今回のお題

- IBMのクラウドポートフォリオと方針
- IBMクラウドの最新情報

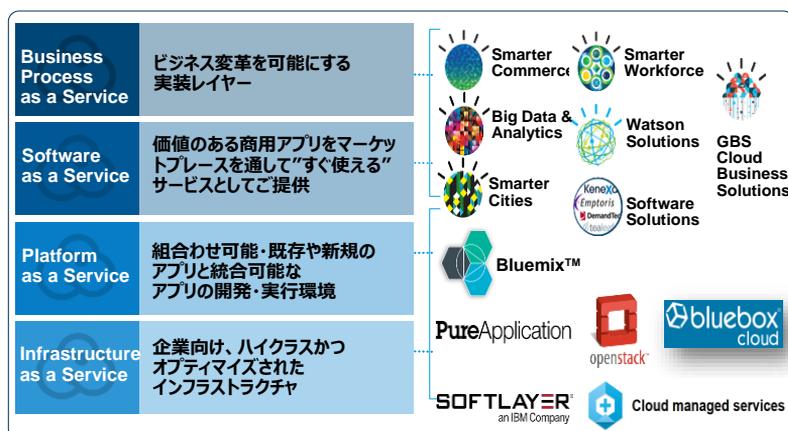


目から鱗というか「常識が変わる」とこと、  
そうすることでユーザーが  
大きなメリットを手に入れることを伝えたい

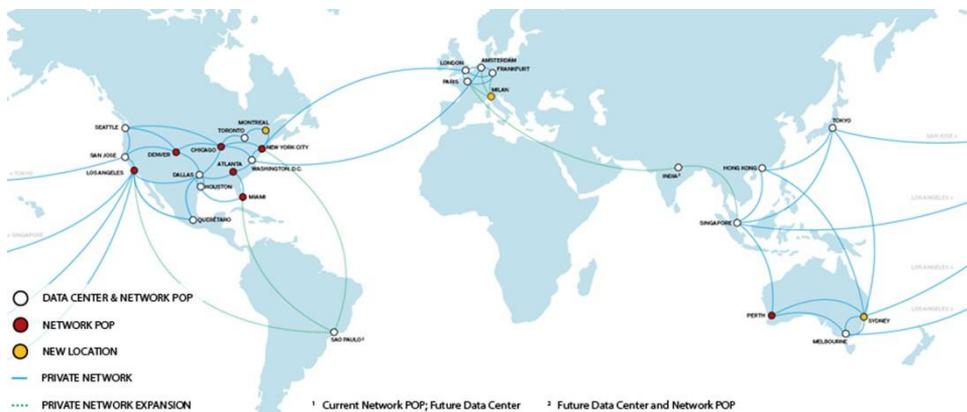
- 「流れが変わる」ということ(金融業界)
- 「変わっていく流れでどうやって価値を生み出そうとしているか」(自動車業界)

## ＝ IBMクラウド ポートフォリオ

パブリック・プライベート・ハイブリッドと  
豊富なクラウド製品・サービスをご提供しております



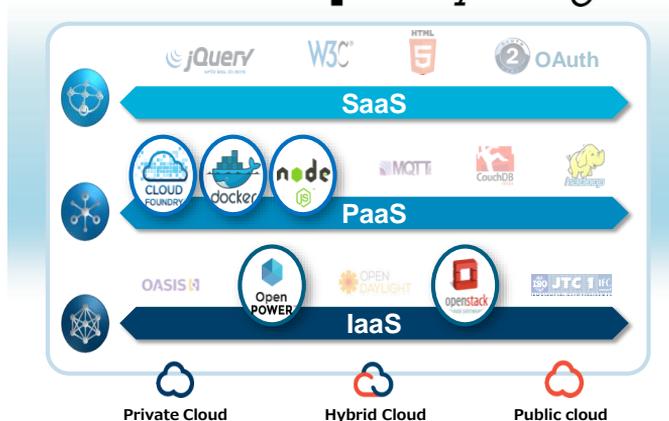
## SoftLayer 『グローバル』 + 『高速』 ネットワーク・バックボーン



- 現在、28 データセンター、23 接続拠点
- パブリック、プライベート、管理N/Wをそれぞれ10Gbps以上の帯域で接続
- 複数のTier1キャリア回線を冗長化接続し、高速かつ高可用性接続を実現
- プライベート接続は無料利用。

## ＝ IBMのオープン・クラウド戦略

Open by design™



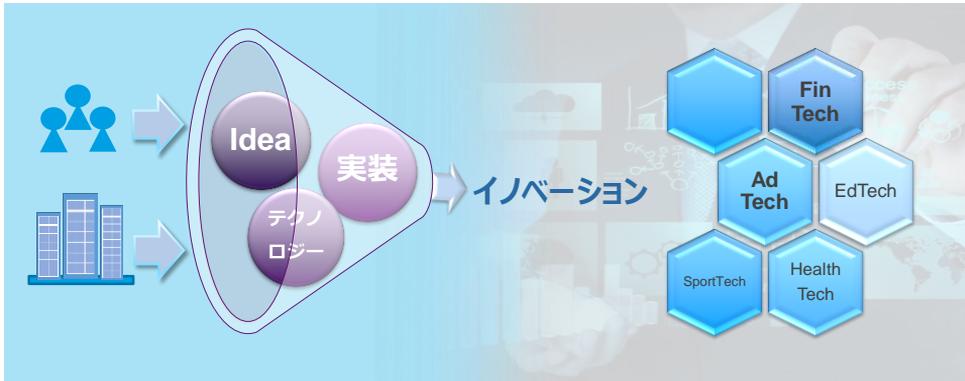
IBMの製品サービスを今後さらにオープンな  
技術をベースに発展していきます。

<http://www.ibm.com/cloud-computing/us/en/open-cloud.html>





## オープン・イノベーションと「従来のビジネス × Tech」



必須となる「APIエコノミー」そして「エコシステム」



流れが変わる、ということ

デジタルによる「破壊者たち」は新たなビジネス・モデルを推進





## デジタルによる「破壊者たち」



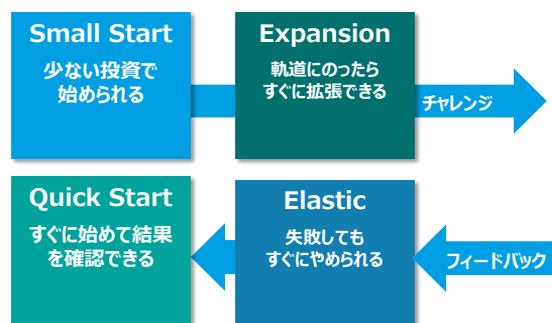
そして、次の破壊者は …

何を「持っていない会社」なのか？





アイデアをすぐに試す、うまくいったらすぐに拡大する  
このスピード感こそがクラウドのもたらした  
新たなビジネス創造のやり方



クラウドがデジタルによる破壊の原動力

大企業もスタートアップと同じスピード感が求められる





## 金融業界の 「変わる」



2016年には50%以上のB2BコラボレーションAPI経由に





## 自動車業界の 「変わる」



### これは、Auto2025でも如実に現れている。 (IBMレポート)

図8

上位に挙げられた成長戦略は、自動車会社に伝統的な業界の枠組みを超える拡大が必要となるイニシアティブに大きな重点が置かれている

2025年に向けて、業界成長の一番の機会はどこにあると思いますか。



出典：IBM Institute for Business Value.

出典：<http://www-06.ibm.com/jp/press/2015/05/1501.html>

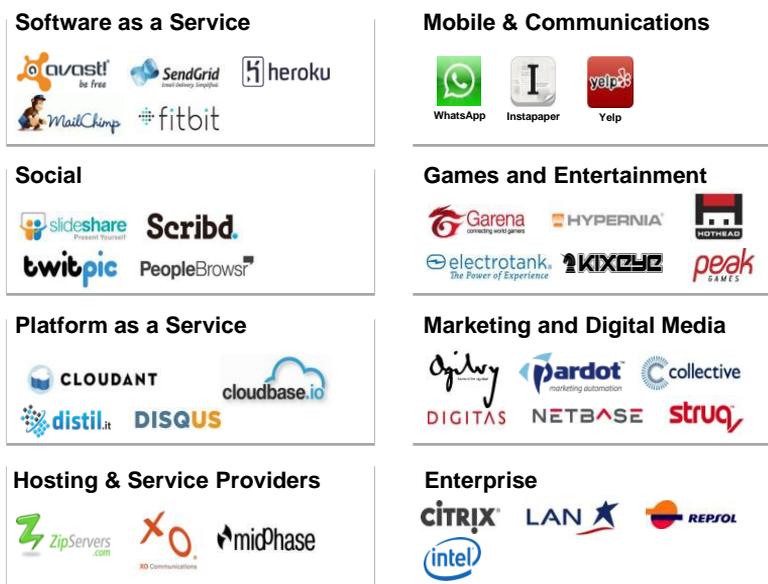


まさに  
エコシステム



## 25,000社以上のお客様がご利用

\* 2014年11月時点



## SoftLayer 東京データセンターを採用決定

\* 2014年12月時点



ハイブリッド・クラウドを有効に活用する成功パターン

ハイブリッドクラウドによる効果を最大限に引き出し、有効に活用するには以下のようなパターンが考えられます。お客様のクラウド活用成熟度とお客様ならではのITの「あるべき姿」を照らし合わせながら、既存IT資産とクラウドとの適切な組合せを判断することが重要です。

	モバイル連携型	使い分け型	災害対策型	リソーススケジュール型	SaaS連携型	ピーク対応型	可搬型
概要	パブリック上でモバイル・アプリケーションからプライベートのSoRを利用する	業務ごとにプライベートとパブリックを分けて使うアプリやデータはどちらかに固定して利用する	通常時の業務はプライベートで実施クラウド上に災害対策環境を準備し、万一の災害時に切り替えて使用する	プライベートではリソース不足となるジョブを実行する際に、追加の計算リソースとしてパブリックを利用する	プライベート上の業務アプリが、SaaSと連携して業務を行う	プライベートでリソース不足になったときにパブリックで処理を行うリソース不足が解消されたらパブリックのアプリ環境は消去される	業務状況に応じてをプライベートとパブリックを選んで業務処理を行うアプリやデータは可搬性を持ち、両者を行き来できる
難易度	低	低	中	高	高	最高	最高
要検討項目	対象とするSoRおよびSoRへのアクセス方法	業務のマッピング 統合監視・管理の方法	データ同期の方法 サイト切り替え方法 アプリ同期方法 統合監視・管理の方法	ネットワーク帯域・設定 使い分けか自動振り分けで難易度が変わる	SaaS連携方法	アプリ同期方法 ネットワーク設定 自動化 or 手動	データ同期方法 アプリ同期方法 統合監視・管理の方法

SoftLayer  
東京DC 1周年記念  
ミートアップ

主催: 日本SoftLayerユーザー会  
SoftLayerパートナー会

お申し込み  
<http://ibm.biz/tokyo1year>



12/22 19:00-21:00 [My Humble House Tokyo](#)@銀座



**Build the future.™**



**SOFTLAYER®**  
an IBM Company

+

**IBM®** 



© Copyright IBM Corporation 2015

IBM Global Services  
Route 100  
Somers, NY 10589 U.S.A.

Produced in the United States of America  
July 2015

IBM, the IBM logo and ibm.com are trademarks of International Business Machines Corporation in the United States, other countries or both. If these and other IBM trademarked terms are marked on their first occurrence in this information with a trademark symbol (® or ™), these symbols indicate U.S. registered or common law trademarks owned by IBM at the time this information was published. Such trademarks may also be registered or common law trademarks in other countries. Other product, company or service names may be trademarks or service marks of others. A current list of IBM trademarks is available on the web at "Copyright and trademark information" at [ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)

This document is current as of the initial date of publication and may be changed by IBM at any time. Not all offerings are available in every country in which IBM operates.

The performance data discussed herein is presented as derived under specific operating conditions. Actual results may vary. It is the user's responsibility to evaluate and verify the operation of any other products or programs with IBM products and programs. THE INFORMATION IN THIS DOCUMENT IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT ANY WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND ANY WARRANTY OR CONDITION OF NON-INFRINGEMENT. IBM products are warranted according to the terms and conditions of the agreements under which they are provided.